

港の風

vol. 47
2022.1.1

神戸港からのたより

PORT OF KOBE



CONTENTS

新年を迎えて ————— 01

神戸市長 久元 喜造
一般財団法人神戸観光局 会長 尾山 基

人みなと ————— 03

神戸市港湾局長
長谷川 憲孝氏
国土交通省 近畿地方整備局 副局長
中村 晃之氏
国土交通省 神戸運輸監理部長
石原 彰氏
海上保安庁 第五管区海上保安本部長
鈴木 史朗氏
神戸税関長
福田 敏行氏
株式会社 神戸ウォーターフロント開発機構 社長
岡口 憲義氏

船インフォメーション ————— 09

神戸港TOPICS ————— 11

神戸海洋博物館・カワサキワールドだより ————— 14

神戸空港NEWS ————— 16

名刺広告 ————— 17

2022年神戸港カレンダー 読者プレゼント ————— 21



2021年2月16日撮影 中突堤に初めて2隻揃って停泊する練習帆船「海王丸」(左)「日本丸」(右)の夜間イルミネーション



「港の風～神戸港からのたより」
編集・発行 一般財団法人 神戸観光局 港湾振興部
〒650-0042 神戸市中央区波止場町2番2号
電話 078 (327) 8981 FAX 078 (332) 4739
<http://kobe-meriken.or.jp>
発行日 令和4年1月1日



「新年を迎えて」

神戸市長
久元 喜造

令和4年の新春を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。旧年中は、本市行政ならびに神戸港の振興・発展に対しまして、ご指導・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年秋の神戸市長選挙におきまして、市民の皆様からご信任を賜り、引き続き市政を担わせていただくことになりました。私に課せられた責任の重さを常に胸に抱きながら、市民のみなさまからの期待にお応えできるよう、全力を尽くしていく所存です。

これまで2期8年間にわたり、神戸を安定した成長軌道に乗せていくため、大切なものは守り、変えるべきところは変えることを基本に、都心・ウォーターフロントの再整備や拠点駅における大規模なリノベーションを力強く展開し、すべての世代を対象とした社会保障政策、安心・安全、環境、芸術・スポーツなどの分野でも新たな政策展開を進めてきました。

このような中で出現した新型コロナウイルス感染症により、神戸はもとより世界中の風景は一変しました。多くの事業者や市民の皆様には感染予防や感染防止対策へのご協力をいただき、医療従事者の皆様の献身的なご尽力により、多くの命が救われ、多くの人たちが回復を果たされました。あらためて心より感謝申し上げます。

今後も市民や事業者の皆様にとって、より一層、魅力と活力に満ちあふれる港になるため、神戸の港湾エリアにおいて神戸経済の賑わいづくりをけん引する様々な施策を展開していきます。

まず、ウォーターフロントエリアの活性化と賑わいづくりに向けた取り組みを引き続き進めます。神戸ポートタワーは昨年10月から改修工事に着手しており、開業60周年となる令和5年のリニューアルオープンを目指します。新港突堤西地区では、第1突堤基部の複合再開発により、昨年1月から順次施設が開業しており10月には賑わいの核となる神戸ポートミュージアムが開業したことで、新たな人の流れが生まれているほか、第2突堤でも大規模多目的アリーナ開業に向けた取り組みを進めています。

神戸港の物流については、「集貨」「創貨」「競争力強化」の3本柱による国際コンテナ戦略港湾の取り組みを推進している

ほか、神戸港の民間企業の方々にもご協力いただきながら多様な貨物集貨を進め、物流インフラである港湾の機能強化に取り組んでいるところです。

また、大阪湾岸道路西伸部についても、海上部の海底浚渫工事をはじめ、陸上部の下部工事（六甲アイランド）、トンネル開削工事（駒江）と、着実に事業が進捗しているところです。

今後も神戸港が我が国の経済を支える港であり続けるよう、これまで以上に西日本諸港からの集貨や航路の誘致などのポートセールスを行い、急速に進む脱炭素化といった環境への対応にも取り組み、神戸港の港勢拡大、競争力強化に全力で取り組んでまいります。

一方、クルーズ客船については、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年2月より世界的に運航休止となり、現在も外国籍客船については入国規制のため入港の目途は立っておりません。日本籍客船については、一昨年11月より国内クルーズが既に再開しており、今後、神戸発着クルーズが多数予定されております。引き続き、徹底した感染症対策を講じながらクルーズ客船の受入を行い、日本を代表するクルーズポートとして、更なる客船の誘致を進めてまいります。

また、神戸空港は今年2月に開港16年を迎えます。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、航空業界全体も大きな影響を受けておりましたが、このような状況の中にあっても、新規就航（R2.10～宮古（下地島）、R3.3～花巻）や路線の増便（R3.8～松本）が実現しており、現在、全国12都市に就航しています。

震災を乗り越えてきた市民や事業者の皆様とともに、必ずやコロナ危機も克服し、新しい地平を切り開いていけるものと信じています。神戸の未来が明るいものとなるよう、官民一体となり力強く取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸、また本年が素晴らしい1年となりますことを心から祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。





「新年を迎えて」

一般財団法人 神戸観光局
会長 尾山 基

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、事業の中止や縮小を余儀なくされましたが、一般財団法人神戸観光局 港湾振興部（旧：一般社団法人神戸港振興協会）に対する皆様からの変わらぬご支援を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

港湾振興部は、関係官庁、関係業界等のご協力を得て、神戸港の港勢拡大を図ることを目的に、神戸港視察受け入れ等の交流事業、神戸港案内業務のポートセールス支援、客船誘致活動や観光船等の振興に努めています。会員制度「神戸港振興倶楽部」には約350の企業・団体にご賛同いただいておりますが、神戸港に関する知識・情報等のアップデートやスキルアップに取り組み、引き続き質の高い会員サービスの提供に努めてまいります。

また、海事思想の普及や海事人材の育成、ウォーターフロントの賑わいづくりに貢献するため、市民と港を結ぶ各種イベントを開催するとともに広報活動を行っています。運営の一端を担っております海上花火大会は、みなと神戸を代表するイベントであります。感染症対策を講じた新しい分散型花火の開催に向けて準備を進めています。

さらには、観光施策との連携を図り、神戸ポートミュージアムの開業など再開発が進む新港突堤西地区の情報発信の強化に取り組んでいます。このエリアのまちづくりを進める神戸市の外郭団体「株式会社神戸ウォーターフロント開発機構」は令和3年5月31日に設立されましたが、当法人の副会長である岡口憲義（元神戸市副市長）が代表取締役を務めており、今後も同社との協業関係を構築していきたいと考えています。

このほか、港湾振興部では、ポートターミナル及び中突堤旅客ターミナルを運営しています。船社や関係官庁との協力関係を構築しており、クルーズ客船の寄港再開を機に、乗・下船されるすべての方が安全・安心にお過ごしいただけるように努めてまいります。

同じく須磨ヨットハーバーの運営においては、ヨット・モーターボートのオーナー様から多くのご利用をいただき、非常に高い稼働率を維持させていただいております。管理棟4階からは須磨海岸を一望できるレストランもあり、人気の施設となっています。

港湾振興部では、引き続き、会員企業・団体の皆様とともに、神戸港の発展に寄与してまいります。最後になりましたが、今後とも、関係各界の倍旧のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



今回の「人みなと」は、神戸港の動向を担う関係官庁のキーマン6人がご登場です。各分野のトップに立つ方々の経歴やお人柄、withコロナ時代における今後の展望について、貴重なお話を伺うことができました。



神戸が持つ 潜在力を引き出し、 生かす取り組みを

神戸市港湾局長

長谷川 憲孝氏

PROFILE

1966年2月、兵庫県生まれ。1989年3月神戸大学工学部卒業、2008年3月同大学博士(工学)学位取得。1990年4月神戸市採用。2009年4月建設局中部建設事務所主幹、2011年4月みなと総局(当時)技術部工務第2課長、2015年同部工務課長、2016年4月みなと総局担当部長(臨海整備担当)、2018年4月同工務部長、2020年4月港湾局副局長、2021年4月より現職。休日は幼少時から弾くチェロを楽しむ。冬はスノーボードなどウィンタースポーツに家族で出かけていたが、コロナで休止中。

一貫して関わってきた“まちづくり”

1990年4月に入庁し、まず開発局で山を造成して住宅地や工場、物流施設などをつくる基盤整備に携わりました。震災直前に海方面へと移り、震災後は災害復旧や防災、道路行政などを担当。1999年から神戸空港を担当し、埋め立て工事着手から2006年の開港まで見届けたことは、特に印象深い仕事です。

大規模なものから市民により近い整備まで、一貫して“まちづくり”に関わってきました。

神戸港の付加価値向上へ

コロナによって物流、旅客状況がなかなか予測のつかないほど変わりました。世界各国の感染対策や消費ニーズなど多様な出来事が複雑に絡み合い、影響し合います。例えば、ある街がロックダウンすればものは動かなくなりますが、かと言って一気に動くと滞留する。港によっては荷物がさばききれず出せなくなり、適正な物流となりません。クルーズ客船やフェリー、エアラインなど旅客も同様です。人々の行動様式が変わってきており、今後、どのように変化するのか…。

ですから、常にアンテナを立て、関係者や地元住民の皆さんのニーズをヒアリングしながら、社会情勢をしっかりとらえることが非常に重要と考えています。常に皆さんのニーズを聞き取り、支援を強力に進めていきます。

環境面では、港湾の脱炭素化を目指す「カーボンニュー

トラルポート」(CNP)形成について、より具体的な内容を詰めていきます。また神戸空港島では、新たな燃料として注目される水素のサプライチェーン構築に向けた実証事業が進められており、世界で初めて運搬船も着岸します。この強みを生かして神戸港の付加価値を上げ、競争力強化へと繋げていきたいと考えています。

防災面の充実も図っています。高潮対策では遠隔操作のできるシステムへと徐々に変えていきます。

「観光」が重要キーワード

今後、観光需要がさらに重要なキーワードとなってきます。いかに交流人口を増やしていけるかが第一のポイントです。まず一つはウォーターフロントの魅力をどう高めていくか。関係各所と連携しながら進めていきます。また須磨海岸もより活性化を目指します。2024年には水族館もリニューアルオープン予定です。冬も含めて四季を通して訪れたいような取り組みを進めていきます。

以前から海外に向けてポートセールスを行っており、コロナ以降もオンラインで継続して発信しています。昨夏も主要港のCEOらが集う会議に日本から唯一、神戸港が参加しました。海外の人たちからは、神戸の山と海がこれほど近接しているのは貴重だとよく指摘されます。街から山にすぐ登れ、多くの船が行き交う海を眺められる。これは大きな財産です。神戸が持つ潜在力を引き出し、生かす取り組みを引き続き行っていきます。



インフラ整備を しっかり支え、 コロナからの反転攻勢を

近畿地方整備局 副局長

中村 晃之氏

PROFILE

1967年8月、高知県生まれ。1992年3月東北大学大学院工学研究科土木工学専攻修了後、4月運輸省入省。2003年1月中国地方整備局宇部港湾工事事務所長、2004年10月鉄道局施設課長補佐、2011年4月港湾局港湾経済課港湾物流戦略室課長補佐、2014年7月港湾局産業港湾課産業連携企画室長(併任 同計画課官民連携推進室長)、2017年7月九州地方整備局港湾空港部長、2019年1月沖縄防衛局次長、2019年7月港湾局計画課長(併任 大臣官房広報戦略室広報戦略官、総合政策局合理的根拠制作立案推進本部EBPM推進官)、2021年7月より現職。休日は神戸の街を探索がてら、ジョギング、散歩を楽しむ。

「国際コンテナ戦略港湾政策」の法改正に従事

私は鉄道、港湾など社会資本整備や交通安全に関わる業務を中心に携わってきましたが、港湾関係で特に印象深いのは、阪神港も選定されている「国際コンテナ戦略港湾政策」のための港湾法改正に2011年、2014年の2回携わり、達成できたことです。

これは国の物流の生命線をしっかり確保するための国家プロジェクトで、港の種類を見直すのは実に60年ぶりでした。港同士の格差をつけるというより、「国際コンテナ戦略港湾」は全世界に直結するコンテナ輸送網をわが国として強く確保するための機能、役割を担う拠点港という位置付けです。その機能をしっかりと果たすために、国も最大限取り組んでいます。

現場の声を丁寧にすくい上げる

神戸港の物流は、コロナ禍にも関わらず、関係者皆さんの努力で回っており、概して堅調ではないかと感じています。全国から貨物を集めてくる取り組みをされており、その力を十分持っている。

私たちとしては、まずコロナ禍からの反転攻勢をかけるため必要なインフラ整備をしっかり支えていく、物流機能を確実に確保していきたいと考えています。そのためには、常に最新データをチェックしながら見極めて対応していくことが重要です。

港湾においてもデジタル化、情報化が進みつつあるの

で、効率面、環境面からも引き続き推進し、対応していきたいと考えています。また、神戸の交通体系を大きく変えるような湾岸道路プロジェクトが進められているので、しっかりと取り組んでいきます。

私は仕事の上で、自らへの戒めのようなものですが、知ったかぶりをしない、さまざまな人の話をよく伺う、確認することをいつも心がけています。港ではさまざまな人たちが有機的に働いている、その人たちの話をよく伺いながら進めていくことが大切です。状況を見ながら、なるべく現場に足を運んで、皆さんそれぞれの現況やニーズに耳を傾けたいと思っています。

より質の高い観光資源の開発を

神戸はさすが“みなと神戸”という言葉どおり、港を大切にする文化が根付いていると感じます。街はおしゃれな雰囲気、コンパクトにまとまっていますね。

観光は、いずれ必ず盛り返すと考えています。復活までの間、安全対策、感染防止対策などをしっかり整備する期間を与えられたととらえ、今一度、人の目線で見直し、旅客対応、安全面、景観面など、港湾管理者とともに進めています。海外からは日本の良さが一面的にとらえられているように感じているので、より質の高い観光資源を開発するにも、この時間を有効に使えるのではないのでしょうか。

日本経済に 必要不可欠な海事産業の 実際を伝えていく

神戸運輸監理部長

石原 彰氏

PROFILE

1962年4月、兵庫県生まれ。大阪府立大学工学部卒業後、1987年運輸省入省。2000年5月外務省在英日本国大使館第一書記官、2006年7月国土交通省海事局外航課国際機関条約対策室長、2015年4月海事局海洋・環境政策課環境渉外室長、2016年4月同安全政策課船舶安全基準室長、2018年4月同海洋・環境政策課長、2020年4月より現職。ディンギーやSUPなどマリンスポーツを楽しみ、神戸の海を満喫している。



港の姿をあらためて知る

当部は海運、船舶などの海事を中心に、自動車も含めて、兵庫県下の交通運輸行政を一体的に担っています。また、観光についても、海が関わる海事観光を中心に取り組んでいます。

私は初任地が香川・高松の四国運輸局でしたが、高松も神戸と同じく「船どころ」です。造船所をはじめ、船関係企業や工場が多く、旅客船、貨物船、はしけなど大小さまざまな船も行き交います。大学で船舶工学を学び、ある程度、知識を持っているつもりでしたが、その多様さに驚いたものです。港の実際をわかっていなかったと気付かされ、海事産業は日本経済にとって非常に重要なものだと痛感しました。そこに関わりたいとの思いをさらに強くし、今に至っています。

新たな観光コンテンツをつくる

海事産業が引き続き持続的に存在していくためには、市民の皆さんのご理解が必要です。今の日本にとって海事産業が必要不可欠だと皆さんに気付いていただき、応援していただけるよう、しっかり伝えていくことが重要だと考えており、私たちの「使命」の一つでもあります。

神戸に着任して1年半となりますが、具体的な取り組みを進めてきました。例えば、2020年10月に「淡路島地域海事観光推進協議会」を、交通関係や旅行関係者、地元自治体等とともに設立、新たな観光コンテンツを創設すべく幅広

く意見交換しています。2021年秋には「咸臨丸」による「明石海峡大橋サンセットクルーズ」などのイベントが企画され、乗客の皆さんの声を聴いて分析し、次へと繋げていこうとしています。また家島諸島の観光パンフレット「ぶらり家島諸島」の制作、企画切符「しま遊びきっぷ」発行等で、家島観光の盛り上げに取り組んでいます。

昨年7月には、県下の海系博物館を繋ぐ「兵庫海博倶楽部(ひょうご・うみはく・くらぶ)」を設立、現在25館が参加してホームページで発信しています。

このような海事活動や神戸港の歴史等をまずはメディア関係者に広く発信していただきたいと、昨夏から数カ月ごとに懇談会「神戸波止場町サロン」を開催しており、今後も継続していきたいと考えています。

継続して多様な発信を

観光の視点以外にも、貨物船、造船業、それぞれの船員の仕事など、実にさまざまな海事産業がありますから、今後もより多様に、継続して発信していきます。例えば、海事産業に携わる方々のきらりと光る技にスポットを当てる「マリンエキスパート表彰」も行っているため、ぜひご興味を持っていただければと思います。

まだまだwithコロナではありますが、我々の対応の仕方も蓄積されてきたと感じています。その経験を活かしながら、感染対策を継続しつつ、新しい取り組みを進めるためのアドバイスや情報提供など必要な支援をしっかりと行っていきます。



新レーダー施設を建設、 海の安全安心確保を強化

海上保安庁 第五管区海上保安本部長

鈴木 史朗氏

PROFILE

1967年7月長崎県生まれ。東京大学法学部卒業後、1991年4月運輸省入省。1997年9月から英国留学、1998年9月海上保安庁警備救難部警備第一課補佐官、2001年1月国土交通省鉄道局都市鉄道課開発推進調整官、2006年7月から米国留学、2008年7月内閣府国際平和協力本部事務局調査官、2015年4月海上保安庁警備救難部国際刑事課長、2019年7月同総務部参事官(警備救難部担当)、2020年7月より現職。休日にはロードバイクで六甲山系や淡路島などに出かけ、リフレッシュしている。

観光関係業務も3度経験

旧運輸省(現国土交通省)に入省して約30年。海事や鉄道、国際関係など幅広い分野に携わってきました。

観光関係業務も3回経験しています。2002~4年に総合政策局観光部で、国として初のインバウンド促進キャンペーン「ビジット・ジャパン」の立ち上げに携わりました。

2010~11年には観光庁総務課企画室長を務めました。2014~15年には関東運輸局企画観光部長として、当時、国内で唯一、観光の広域連携の枠組みが成されていなかった関東地域の面的な連携のため尽力しました。

海保の3本柱をより強化

第五管区海上保安本部長として2020年7月に着任しましたが、海上保安庁のポストは4回目です。現場に最も近い、国民に寄り添った仕事であり、とてもやりがいを感じています。

当本部は兵庫(日本海側を除く)、大阪、滋賀、奈良、和歌山、徳島、高知各府県の区域とその沿岸水域という広範囲を管轄しています。3本柱の「海上における治安の維持」においては、東京2020オリンピック・パラリンピックで海保として史上最大規模で対応に当たって得られた知見を現場で活かしていきます。2025年の大阪万博での海上警備について検討、準備を始めています。また「自然災害への備え」については、南海トラフ地震への備えが重要課題であり、対策を進めています。

「海上交通の安全確保」については、海の管制塔のような組織である「大阪湾海上交通センター」の新たなレーダーをポートアイランドに建設中です。現在、淡路島に置かれています。そのレーダーを残しつつ、新たな施設建設により海域監視機能を強化していきます。2022年3月までに建物完成のうえ、新年度内にレーダー設備を設置、人員確保を進め、2023年運用開始予定です。体制強化を関係各所とともに進めながら、ハード・ソフト両面から準備に万全を期したいと考えています。

神戸の魅力アップを海から支える

海保は現場の組織であり、現場あつての海保です。現場職員たちがいかに働きやすくなるかを常に頭に置いて「現場ファースト」を心がけています。

神戸港は魅力あふれる港です。街には世界中の文化が根付き、自然も豊か。まだまだ潜在的な観光資源、原石が多くあるかと思います。例えばマリンレジャーや海を体験できる場など、五感をフル動員して楽しめるものを提供できるのではないのでしょうか。今後、少しずつ日常へ戻っていく中、経済が円滑化する上で、海の安全安心は基礎となるものです。我々はその海の安全安心を確保することで、しっかりと支えていきます。

変化には変化で対応し、 しっかり水際を守る

神戸税関長

福田 敏行氏

PROFILE

1962年5月、神奈川県出身。中央大学経済学部卒業後、1986年4月大蔵省入省。東京税関総務部人事課、1994年7月関税局管理課職員第一係長、1997年7月同業務課輸入通関第一係長、2000年7月同企画課総括係長、2003年7月東京税関芝浦出張所統括審査官、2014年7月関税局関税課税関調査室長、2017年7月函館税関業務部長、2018年7月門司税関業務部長、2019年7月関税局調査課長、2020年7月門司税関長、2021年7月より現職。趣味は神社仏閣巡り。神戸市内をはじめ県下の小さな神社も訪れている。



一貫して税関行政に携わる

入省して東京税関に配属以来36年程になりますが、一貫して税関行政に携わってきました。関税局に23年程勤務しましたが、そのうちの半分程は法改正を担当する部署におりました。

特に印象に残っている仕事は、2005、6年ころ、不正薬物など、輸出してはならない貨物を新たに設ける法律に携わったことです。覚醒剤取締法など他の法律では、輸出してはならないと示されていますが、関税法の中で規制する、つまり水際で阻止するという意味での輸出規定がなかったのです。その点を1年程かけて法案を練り、提出、施行までたどりつくことができました。

コロナ以降の密輸入手口にしっかり対応

税関には「安全・安心な社会の実現」「適正かつ公平な関税等の賦課徴収」「貿易円滑化の推進」という三つの使命があります。もちろんそれぞれ力を入れますが、特に「安全安心な社会の実現」に重きを置きたいと考えています。

不正薬物、覚醒剤の密輸入は、ここ4年連続で1トンを超える量となっており、その取り締まりは重要課題です。特にコロナ拡大に伴う入国制限で、その手口が大きく変化しています。今までは航空機の旅客が持ち込むケースが件数としては多かったのですが、貨物に隠匿したり、洋上で船と船の間でやり取りをする、いわゆる「瀬取り」にシフトしている可能性があります。

神戸税関の管轄区域は兵庫県、中国地方4県、四国4県と全国9税関の中でも函館に次ぐ広さで、長い海岸線を有しています。空港もありますが、圧倒的に海の税関です。商業貨物や船舶への検査、情報収集などを強化し、しっかり取り締まるよう対応していきます。

「運上所」から「税関」へ、150周年

経済社会の複雑化、国際物流ニーズの高度化、多様化、コロナ対応など、税関を取り巻く環境は非常に変化が著しい状況にあります。伝統を大切にしつつも慢心することなく、時代の変化に適切に対応していきたい。変化には変化で対応するとの考えのもと、税関行政を進めていきます。

港町神戸の発展とともに、税関も成長してきました。伝統的な建物で9税関の中でも特に街での存在感があり、市民の皆さんにもよく知られているのではないのでしょうか。コロナが落ち着いて来たら、皆さんとの交流も積極的に深めていきたいですね。昨年11月末には完全予約制でしたが、庁内を見学していただくイベントも再開しました。

本年2022年は税関が「運上所」からスタートし、全国的に「税関」と呼称が統一されてから150周年を迎えます。神戸税関でもイベントなどを開催していきたいと思えます。春には展示室をリニューアル予定です。

貿易の街、神戸で、貿易に携わる役所としての税関を歴史も踏まえて、より身近に感じていただければ幸いです。

世界を魅了する有数の ウォーターフロント形成に向け、 「民官」の橋渡しを担う

株式会社神戸ウォーターフロント開発機構 代表取締役社長

岡口 憲義氏

PROFILE

1954年10月、兵庫県生まれ。1979年3月神戸大学法学部を卒業後、4月神戸市採用。1995年4月港湾局管理部主幹、1999年4月市民局広報相談部広報課長、2002年4月みなと総局経営部長、2007年4月産業振興局参与(企業誘致推進室長事務取扱)、2009年4月みなと総局長、2014年3月副市長、2020年8月神戸観光局副会長、2021年5月より現職(神戸観光局副会長兼務)。趣味は読書。多彩なジャンルの小説や随筆を「乱読」。休日は散歩を楽しみ、リフレッシュしている。



港関係の仕事に長年携わる

阪神淡路大震災発生年の1995年の4月に、当時の市の外郭団体、財団法人神戸港埠頭公社に出向しましたが、これが神戸港の仕事に直接携わった最初でした。復興に向けて一丸となって取り組み、現場の皆さんの血のにじむような努力と国からの支援もあり、震災後2年で復旧宣言を行うことができました。

以後、港関係の仕事を中心に務めてきましたが、開港150年の2017年、コンテナ貨物取扱量が震災前の水準に復活できたことは特に印象深いです。港の勢いを震災前に取り戻し、ウォーターフロント再開発の緒に就けました。

生まれ変わる港湾エリア

港のかたちは時代とともに大きく変化しており、ウォーターフロントの開発は、世界中の港で必須の課題ですが、神戸では震災のため遅れを取っていたのが現状でした。

コンテナ船の大型化が進み、埠頭は明治から大正にかけて建設された新港第1~4突堤からポートアイランド、六甲アイランド、さらに沖合へと展開。そのため昔から使用していた港湾エリアが空き、再開発に取り組むこととなりました。市では2011年3月に都心・ウォーターフロントの目指す姿として『「港都 神戸」ランドデザイン』構想を策定。これに沿ってエリア全体のまちづくりを長期的にマネジメントすべく、昨年5月に当社が設立されました。

現在、新港突堤西地区では「みなと温泉 蓮」開業、フェリシモ本社やGLIONの本社機能移転、昨年10月には「フェリシモチョコレートミュージアム」や「神戸ポートミュージアム」の開業と、一歩ずつ再開発が進捗しています。さらに2024年には大型アリーナが開業予定です。また中突堤では神戸のランドマーク、「神戸ポートタワー」がリニューアル工事に入り、2023年再開を目指します。

課題であったアクセスも、昨春から連節バス「Port Loop」が運行を開始、秋には増便され便利になっています。さらに市では将来的に新たな交通手段として、次世代型路面電車を用いたLRT導入の検討も進めています。

エリアマネジメントを着実に進める

本年は大事な年になるととらえています。三宮駅前再開発も進められており、まさに神戸が活力ある街として次のステージへと上がる時期にきているのです。この時期を取り逃すことなく、withコロナを念頭におき、各施設がさらに成長していくようサポートをしっかりと行うとともに、地域住民や企業の皆さんの声を伺いながら、まちづくりプランを立て、次のプロジェクトを進めていきます。

「民官」の橋渡しという我々の重要ミッションを果たしつつ、エリアマネジメントを着実に進め、国内外に魅力的で持続性のあるウォーターフロントとして発信していきます。

神戸港からのクルーズが再開しました！

新型コロナウイルス感染症等の影響で運航を見合わせていたクルーズ客船が、約半年ぶりとなる営業航海を再開し、国内各地へ向かう出港風景が神戸港に戻ってきました。



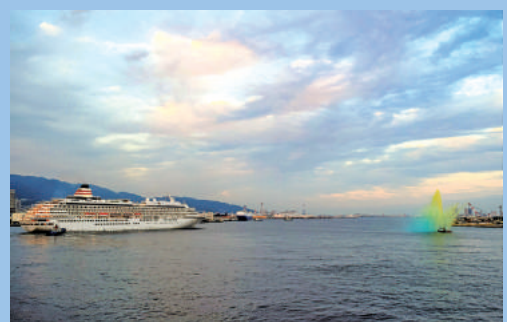
10月15日

「にっぽん丸」が4月から約半年ぶりのクルーズを再開し、別府へ向け中突堤を出港しました。神戸市消防音楽隊の歓送演奏と神戸市水上消防署の消防艇による歓送放水に見送られ、夕陽に照らされての出港となりました。



10月19日

「飛鳥Ⅱ」が新港第4突堤から瀬戸内海を通り高知へ向け出港しました。4月から約半年ぶりのクルーズ再開です。少し秋めいた夕暮れ時、神戸市消防音楽隊による歓送演奏、神戸市水上消防署の消防艇による歓送放水に見送られての出港です。





SHIP INFORMATION AND SCHEDULE



10月23日

「飛鳥Ⅱ」が、油津へ向け新港第4突堤から甲南大学「Big Mountain Jazz Orchestra」の軽快な演奏に見送られ、出港しました。



11月7日

「にっぽん丸」が、宿毛へ向け新港第4突堤から甲南大学「Newport Swing Orchestra」のJazz演奏に見送られ、出港しました。



神戸港へのクルーズ客船の入港予定は

「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。



客船入港情報ホームページ

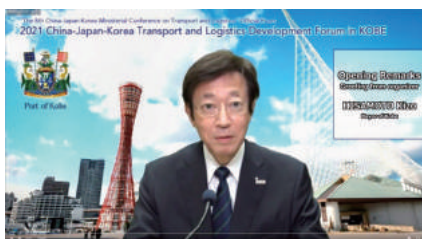


神戸港 TOPICS

第8回日中韓物流大臣 会合関連行事「日中韓 物流発展フォーラム in KOBE」開催

日中韓三国間の円滑な物流の実現等に向け、三国が課題を解決し、協力を推進する枠組みとして開催された「第8回日中韓物流大臣会合」に合せて、8月20日にオンライン形式で「日中韓物流発展フォーラム in KOBE」を実施しました。物流事業者や船社、荷主企業などを中心に、国内外の民間企業等から245名の方々に参加いただきました。

フォーラムでは、「ポストコロナを見据えた物流のあり方」をテーマに、赤羽一嘉国土交通大臣をはじめ、中国、韓国からの各国代表挨拶のほか、敬愛大学の根本敏則教授による基調講演や、グリーン物流やデジタルイノベーションなどについて日中韓各国の物流企業等から最新の事例発表が行われました。また、神戸港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた取組みについても発表を行いました。



久元 喜造 神戸市長



赤羽 一嘉 国土交通大臣

主催者挨拶	久元 喜造 神戸市長
各国代表挨拶	(日本) 赤羽 一嘉 国土交通大臣 (中国) 単 紅軍 交通運輸部 国際合作司 司長 (韓国) 文 成赫 海洋水産部長官
基調講演	『ポストコロナを見据えた物流のあり方』 敬愛大学教授 根本 敏則氏
セッション1	「ポストコロナを見据えたシームレス物流の展望と課題」 (日本) 日本通運株式会社 代表取締役副社長 副社長執行役員 堀切 智 氏 (中国) Sinotrans Central China Co.,Ltd. Weihai Branch, General Manager Assistant Liang Qingxia 氏 (韓国) Busan Port Authority, Vice President Kang Bu-won 氏
セッション2	「グリーン物流の今度の展開」 (日本) F-LINE株式会社 常務執行役員 藤原 丈二 氏 (中国) Shandong Port Land-Sea International Logistics Group Co.,Ltd. Chairman of the Board, Liu Zhiguo 氏 (韓国) Samsung SDS, Cello Square Business Team Leader, Choi Bong-gi 氏 「神戸港におけるカーボンニュートラルポートの取組み」 長谷川 憲孝 神戸市港湾局長

セッションでは、大臣会合で協議された三国間物流の今後の方向性が広く示されたほか、西日本の物流拠点である神戸港の先進的な取組み状況やポストコロナを見据えた神戸の街のPRを行い、神戸港の国際的なプレゼンス向上につながる貴重な機会となりました。

「GO FOR IT ! PORT OF KOBE」

クルーズ客船の神戸への寄港再開を機に、世界に誇る「安心・安全な港町」神戸をPRする特別展やイベントを、神戸海洋博物館を中心としたエリアで開催しました。

新型コロナウイルスの影響を大きく受けたクルーズ客船は、長らく運休していましたが、徹底した感染症対策を実施し、国内クルーズが再開しています。船社やクルーズターミナルの感染症対策や船旅の魅力を発信し、参加者からは「憧れのクルーズ客船に乗りたい」や「神戸港へクルーズ客船が戻ってくるのを待っています」などのメッセージが寄せられました。

「Exhibition特別展示クルーズ船「神戸」へ。」

2021年9月18日(土)～9月26日(日)

会場：神戸海洋博物館

神戸港とクルーズ客船の安全対策の展示や、乗船体験レポート等より深く紹介する特別展を開催。また、憧れのクルーズ客船の魅力を写真や動画で紹介しました。



特別展示クルーズ船「神戸」へ。

「STAMP COLLECTION EVENT シルバニアファミリーコラボ企画 PORT OF KOBEスタンプラリー」

2021年9月18日(土)～9月26日(日)

神戸海洋博物館、神戸ポートタワー、中突堤旅客ターミナルを巡るスタンプラリーが開催されました。各ポイントでは「シルバニアファミリー」の大きなお人形が参加者を出迎えました。



PORT OF KOBEスタンプラリー

イベント期間中はチャリティー募金箱を設置し、集まった寄付金は全額「こうべ医療者応援ファンド」を通じ医療従事者への支援等に活用されます。

他にも、コロナ禍で会場に足を運べない方にも参加いただけるイベントとして、9月にシルバニアファミリーコラボ企画「クルーズ船ドレスコンテスト」や11月まで「SNSフォトコンテスト-頑張れ!クルーズ船-」も開催されました。

また、イベント期間中には、「GO FOR IT! PORT OF KOBE」キャンペーンのフラッグが元町商店街などに掲出され、彩りを添えました。



元町商店街に掲出されたフラッグ

ポートタワーが大規模リニューアル 工事に着手

昭和38年の開業以来、市民に愛され続ける神戸ポートタワーは、今年の9月26日をもって営業を一旦終了し、10月より大規模リニューアル工事に着手しています。今回の工事では、耐震化工事やトイレ改修、外部塗装の塗替えなど老朽化対策工事が行われるほか、地上約100メートルの屋上には神戸の街並みを360度見渡せる展望歩廊や、低層4階には海

風を感じながらみなと神戸の景色を楽しむことができる屋上テラスが新設されます。また、ポートタワーの美しい夜景を生み出しているライトアップ機器をナトリウム投光器からLEDに取替えます。これにより消費電力量の削減とKOBE ライトアップ DAYに対応したカラーライトアップ演出が可能となります。

リニューアルオープンは開業60周年の節目となる2023年夏頃となる予定です。



新設される展望歩廊



低層4階の屋外テラス

帆船「みらいへ」体験航海

10月2日(土)、港の体験イベント「神戸・みなと体験」が開催され、秋晴れの下、市内小中学生とその保護者、計48名が参加しました。

都心ウォーターフロントと須磨海岸エリアを結ぶ周遊事業の実証運航を兼ね

た今回のイベントでは、帆船「みらいへ」に乗船。中突堤～須磨海岸間をクルーズしながら、船の操縦やセイルのあげおろし、バウスプリット渡りを行いました。力を合わせて帆を上げる場面では、掛け声に合わせてみなさんロープを力いっぱい引いていました。下船後は、須磨海岸でサーフボードの上に立ち、パドルを使い海面を進む海洋スポーツ（SUP）に挑戦。海に親しみながら、海について楽しく学ぶ1日となりました。



「みらいへ」の前で記念撮影



船長に見守られながら操船体験

関西初 「シティロゲイニング」開催

神戸ウォーターフロントの観光スポットなどに設けたチェックポイントを制限時間内に巡って得点を競うイベント「シ

ティロゲイニング in 神戸2021」が、10月3日（日）、11月7日（日）の2日間にわたって、関西で初めて開催されました。

同イベントには、家族やランニング仲間などで形成されたチーム、計約600人が参加し、再開発が進む神戸ウォーターフロントや市街地の街並みを堪能されました。

参加者からは「学生の頃に訪れた街に家族と来てうれしい」「久しぶりに疲れたけれど楽しかった」と、それぞれの思い出に残る一日になったようです。



STARTの様子

水族館などで構成される 神戸ポートミュージアム が開業

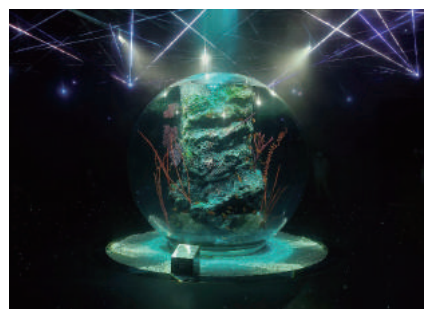
新港第1突堤基部では再開発を行う民間事業者を2017年度に決定し、2019年度より開発工事に着手しており、2021年1月から各施設が順次開業しています。

10月29日には、水族館、フードホール、ブライダルデスクなどで構成される複合文化施設「神戸ポートミュージアム（KPM）」が開業しており、核となる都市型水族館「átoa」（アトア）では、日本最大級の球体水槽や水族館の中とは思

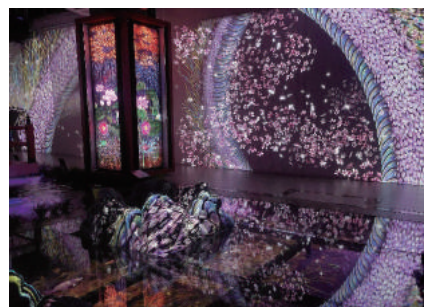
えない雅な和空間など、創意工夫を凝らした様々な空間が楽しめます。また、KPMの外観は隆起する大地と侵食する水により生まれた造形を表現しており、ウォーターフロントエリアの新たなランドマークとなることが期待されています。



神戸ポートミュージアムの外観



日本最大級の球体水槽



展示室の様子



神戸海洋博物館 & カワサキワールド だより

神戸海洋博物館

青山大介・谷川夏樹作品展 「神戸みなと物語 アジアのマザーポートへ」を開催しました

当館では、2021年10月26日から12月12日まで「青山大介・谷川夏樹作品展 神戸みなと物語 アジアのマザーポートへ」を開催しました。2020年秋開催の「神戸みなと物語」シリーズ2回目となる企画展。兵庫県在住の画家・青山大介さんと谷川夏樹さんは、日本におけるコンテナポート発祥の地である神戸港を舞台とした絵本作りと普及を目指す「神戸みなと物語アクト」を展開。2021年は「アジアのマザーポートへ」と題し神戸港がアジアを代表するコンテナポートへと発展し、その後震災に遭いながらも復興していく様子を画家目線で表現しました。絵本用に書き下ろした絵画作品とあわせて関連資料を展示しました。



「神戸みなと物語」青山大介さん、谷川夏樹さんによる作品展ギャラリートーク

年末年始の営業のご案内

当館は2021年12月29日（水）から2022年1月3日（月）まで年末年始につき休館いたします。新年は1月4日（火）より通常の開館時間 10:00~18:00（最終入館 17:30）にて営業いたします。みなさまのご来館をお待ちしております。

2022年の企画展につきまして

当館では新年も様々な企画展の開催を予定しております。1月下旬からは「あなたのおなまえ展」（仮称）として人名や地名と同じ名前を持つ船とその「おなまえ」の由来を紹介いたします。

カワサキワールド 開館15周年！

2021年5月17日（月）、カワサキワールドは開館から15周年を迎えました。開館以来、学校団体やバイクファンをはじめ、累計300万人以上のお客様にご来館いただきました。これからも、創立125周年を迎えた川崎重工グループの代表的な製品を「見て」「触れて」いただくとともに、楽しく学びかつ遊びながら「技術のすばらしさ」と「ものづくりの大切さ」を実感していただける施設を目指していきます。

なお、新型コロナウイルス感染対策の観点から、記念イベントなどは行わず、代わりに記念フォトスポットなどを設置しました。2022年5月ごろまで設置予定ですので、お近くを通られた際はぜひお立ち寄りください。



JET SKIでバーチャル・ライディング体験！

9月28日（火）、海のゾーンに展示しているJET SKIをリニューアルしました。ライディングの雰囲気を感じられるよう、前面のモニターには、走っているJET SKIから撮影した映像を映します。また、海上を走るときの爽快感を送風機で再現しています。

※風景は「南国の海」と「瀬戸内海（明石海峡大橋）」から選択できます。

※風の有無は選択できます。



神戸海洋博物館 **カワサキワールド**
KOBÉ MARITIME MUSEUM Kawasaki Heavy Industries World

- **開館時間** 10：00～18：00（入館17：30まで）
- **休館日** 月曜日（月曜日が祝日の場合翌平日休館）、年末・年始（12月29日～1月3日）
- **交通** **【電車】**
市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分／JR・阪神「元町駅」から徒歩約15分／神戸高速（阪急・山陽）「花隈駅」から徒歩約15分
【車】
山陽新幹線「新神戸駅」から約15分／阪神高速道路京橋ランプから約5分／ハーバーハイウェイ新港ランプから約5分（周辺に有料駐車場あり）

● 入館料金

個人料金	一般団体		学校団体
	15名以上		
大人	900円	720円	高校生 300円
小人 (小・中・高)	400円	320円	小・中学生 150円



神戸空港から12都市に就航しています!

神戸空港は、全国12都市（札幌・青森・花巻・仙台・茨城・松本・東京・高知・長崎・鹿児島・那覇・宮古（下地島））に就航しており、航空会社（スカイマーク・全日本空輸・ソラシドエア・AIRDO・フジドリームエアラインズ）のご尽力により運航しております。

2021年8月27日から、神戸-松本線が1往復から2往復に増便し、ますます便利になりました。冬の松本では、12月1日から2月28日まで松本市の中心市街地から松本城までイルミネーションを実施しています!ぜひ、訪れてはいかがでしょうか。

また、神戸空港では、お菓子や雑貨などを販売する期間限定のポップアップショップ「SORAマーケット」の開催や日替わりでキッチンカーが出店する「キッチンカームルシェ」を開催しております。神戸空港にお越しの際はぜひご利用ください。

今後も、神戸空港がより一層便利で魅力のある空港となるよう、引き続き全力をあげて取り組んでまいりますので、ご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。



松本城イルミネーション（画像はイメージです）



【松本線運航ダイヤ】2021年10月31日～2022年3月26日

便名	神戸→松本	便名	松本→神戸
232	7:40 → 8:40	233	10:20 → 11:25
236	17:00 → 18:00	237	18:30 → 19:35

神戸空港における新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

神戸空港では、皆様に安心して飛行機をご利用いただけるよう、関西エアポート神戸(株)及び各航空会社において空港内・機内の消毒、サーモグラフィーによる体温測定など感染拡大防止対策に取り組んでいます。空港のご利用にあたっては、発熱時のご利用はお控えいただくとともに、空港内や飛行機

内でのマスクの着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンス等をお願いしております。

感染拡大防止に向けたみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。





<p>兵庫県港運協会</p> <p>会長 久保昌三</p> <p>〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭 (摩耶業務センター5階) 電話 078(802)1840</p>	<p>兵庫県倉庫協会</p> <p>会長 若松康裕</p> <p>〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番8号 (三宮プラザWEST 7階) 電話 078(230)2351 FAX 078(230)2371</p>
<p>神戸旅客船協会</p> <p>会長 加藤琢二</p> <p>〒650-0042 神戸市中央区波止場町5番6号 (中突堤旅客ターミナル2階) 電話 078(331)7669 FAX 078(334)1590</p>	<p>神戸海運貨物取扱業組合</p> <p>理事長 須藤明彦</p> <p>〒650-0041 神戸市中央区新港町14番1号 (生活用品振興センター内) 電話 078(331)2973 FAX 078(332)0625</p>
<p>神戸港沿岸荷役業会</p> <p>会長 田中孝</p> <p>〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭摩耶業務センター511 電話 078(801)6111 FAX 078(801)6011</p>	<p>神戸船内荷役協会</p> <p>会長 安原優</p> <p>〒650-0024 神戸市中央区海岸通5丁目1番16号 電話 078(341)2418 FAX 078(371)5348</p>
<p>一般社団法人 兵庫県トラック協会</p> <p>会長 原岡謙一</p> <p>〒657-0043 神戸市灘区大石東町2丁目4番27号 電話 078(882)5556 FAX 078(882)5565</p>	<p> 神戸港はしけ運送事業協同組合</p> <p>理事長 隅田等</p> <p>〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭 (摩耶業務センタービル4F) 電話 078(882)9000 FAX 078(882)9002</p>
<p>兵庫県冷蔵倉庫協会</p> <p>会長 中川亨</p> <p>〒650-0023 神戸市中央区栄町通3丁目6番7号 (大栄ビル5F) 電話 078(333)0204 FAX 078(333)0205</p>	<p>植物検疫のご相談は当会へ</p> <p>KPQA 一般社団法人 神戸植物検疫協会</p> <p>会長 吉村雅比古</p> <p>〒650-0024 神戸市中央区海岸通8番 (神港ビル4階) 電話 078(321)0081代表/FAX 078(391)4664代表 URL www.kobe-shokken.or.jp</p>
<p>公益社団法人 神戸海事広報協会</p> <p>会長 渡辺真二</p> <p>〒650-0042 神戸市中央区波止場町5-6 中央旅客ターミナル2F 電話 078(392)3248 FAX 078(392)3249</p>	<p>株式会社 第一コンピュータリソース</p> <p>取締役 林恒正</p> <p>〒541-0052 大阪市中央区安土町2丁目3番13号 (大阪国際ビル6F) 電話 06(6271)2877 FAX 06(6271)2880</p>
<p> 一般社団法人 神戸清港会</p> <p>会長 堀内敏弘</p> <p>〒650-0045 神戸市中央区港島3丁目5番 電話 078(302)5261 FAX 078(302)5256</p>	<p>阪神国際港湾株式会社 </p> <p>代表取締役社長 外園賢治</p> <p>〒651-0087 神戸市中央区御幸通8丁目1番6号 電話 078(855)2215 FAX 078(855)3960</p>



 <p>神戸航空貨物ターミナル 株式会社</p> <p>代表取締役社長 東野展也</p> <p>〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東4丁目16番地 電話 078(858)1500 FAX 078(858)1501</p>	 <p>ORIENT OVERSEAS CONTAINER LINE LTD. Japan Branch</p> <p>日本代表 藤江成宏</p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11番2号(ゲートシティ大崎イーストタワー8階) 電話 03(3493)6001 URL www.oocl.com/japan/jpn/</p>
 <p>井本商運株式会社</p> <p>代表取締役社長 井本隆之</p> <p>〒650-0035 神戸市中央区浪花町59番地(神戸朝日ビルディング) 電話 078(322)1600代表 FAX 078(322)1620</p>	<p>東興海運 株式会社</p> <p>代表取締役社長 井高英輔</p> <p>〒650-0037 神戸市中央区明石町32番地(明海ビル) 電話 078(331)1511 FAX 078(331)6444</p>
<p>株式会社 神戸クルーザー</p>  <p>代表取締役 日野洋一</p> <p>〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-6-1 電話 078(945)8241 FAX 078(945)8242</p>	 <p>神戸バイクルーズ 株式会社</p> <p>代表取締役 小嶋光信</p> <p>〒650-0042 神戸市中央区波止場町7番1号 電話 078(360)0039 FAX 078(360)0038</p>
 <p>日中国際フェリー 株式会社</p> <p>代表取締役社長 村上光一</p> <p>〒541-0054 大阪市中央区南本町1丁目8番14号(堺筋本町ビル9F) 電話 06(6262)6541 FAX 06(6262)6542 URL : www.shinganjin.com</p>	 <p>宮崎カーフェリー 株式会社 関西支店</p> <p>支店長 細川修一</p> <p>〒650-0041 神戸市中央区新港町3番7号(神戸三宮フェリーターミナル内) 電話 078(321)3535 FAX 078(321)3536</p>
 <p>阪九フェリー 株式会社</p> <p>代表取締役社長 小笠原 朗</p> <p>〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東3丁目2-1 電話 078(857)1221 FAX 078(845)2978</p>	 <p>森本倉庫株式会社</p> <p>代表取締役社長 森本真弥</p> <p>〒651-0086 神戸市中央区磯上通2丁目2番21号(三宮グランドビル) 電話 078(231)4951 FAX 078(232)4043</p>
<p>株式会社 大森廻漕店</p> <p>代表取締役社長 須藤明彦</p> <p>〒650-0031 神戸市中央区東町123番地の1(貿易ビル) 電話 078(391)7201 FAX 078(332)6264</p>	 <p>株式会社 上組</p> <p>代表取締役社長 深井義博</p> <p>〒651-0083 神戸市中央区浜辺通4丁目1番11号 電話 078(271)5110 FAX 078(271)5209</p>
 <p>川西倉庫株式会社</p> <p>代表取締役社長 川西二郎</p> <p>〒652-0831 神戸市兵庫区七宮町1丁目4番16号 電話 078(671)7931 FAX 078(671)6526</p>	 <p>株式会社 後藤回漕店</p> <p>代表取締役社長 後藤博史</p> <p>〒650-0024 神戸市中央区海岸通3丁目2番1号 電話 078(321)2141 FAX 078(392)4581</p>



 <p>五洋ロジテム 株式会社 代表取締役 東 口 正 秀 〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭2番地1 電 話 078 (862)5434</p>	 <p>商船港運株式会社 代表取締役社長 実 謙 二 本 社 神戸市中央区港島9丁目10番 電話(078)304-1200(代) 神戸事業部 神戸市中央区港島9丁目10番 電話(078)304-1211(代) 大阪事業部 大阪市住之江区南港東6丁目3番59号 電話(06)6612-1701(代) 物流営業部 大阪市住之江区南港東7丁目2-92 2階 電話(06)7639-1667(代) 東京営業所 東京都千代田区神田須田町2-23-1 電話(03)3526-6765</p>
<p>株式会社 築 港 代表取締役社長 瀬戸口 仁三郎 〒650-0024 神戸市中央区海岸通3番地 (シップ神戸海岸ビル12階) 電 話 078 (391) 6680 FAX 078 (391) 6674</p>	<p>株式会社 ウシオ 代表取締役社長 牛 尾 雅 英 〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町2丁目3番27号 電 話 078 (652)2065 FAX 078 (652)2070</p>
<p>早駒運輸株式会社 代表取締役社長 渡 辺 真 二 〒650-0042 神戸市中央区波止場町5番4号 電 話 078 (321) 0151 FAX 078 (321) 0583</p>	<p>神戸フェリーバス株式会社 代表取締役 山 神 正 義 〒650-0045 神戸市中央区港島9丁目1番地 電 話 078 (302) 8200 FAX 078 (302) 8202</p>
<p>村上商事株式会社 代表取締役 村 上 功 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通2丁目1番34号 電 話 078 (681)1133(代) FAX 078 (651)1315</p>	 <p>株式会社 カワサキ ライフ コーポレーション 代表取締役社長 岡 本 望 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号 (神戸クリスタルタワー11F) 電 話 078 (360) 8690 FAX 078 (360) 8692</p>
<p>株式会社 秋山組 代表取締役 秋 山 泰 行 取 締 役 秋 山 真 朱 美 〒653-0044 神戸市長田区南駒栄町1番15号 電 話 078 (641)4455 FAX 078 (641)2428</p>	<p>ゼニヤ 海洋サービス株式会社 人と地球環境の未来へ  本社/西日本営業部 大阪営業所 〒563-0035 大阪府池田市豊島南2丁目176番1号 電 話 072(762)7481 FAX 072(762)5482 簡易組立式浮橋「ゼニフロートX」レンタル取扱しております。 使用例・橋梁点検の足場 ・小型船、ボート等の仮係留施設 ・イベント用ステージ、遊歩道…etc.</p>
<p>溝口建設株式会社 取締役社長 溝 口 昌 宏 〒653-0811 神戸市長田区大塚町3-1-15 電 話 078 (631)7676 FAX 078 (631)2511 </p>	 <p>寄神建設株式会社 代表取締役社長 寄 神 正 文 〒652-0831 神戸市兵庫区七宮町2丁目1-1 電 話 078 (681)3120 FAX 078 (681)1882</p>
<p>神鋼不動産株式会社 取締役会長 花 岡 正 浩 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通2丁目2番4号 電 話 078 (261) 2121 FAX 078 (261) 2140</p>	 <p>阪神高速サービス 代表取締役社長 田 代 千 治 阪 神 高 速 サ ー ビ ス 株 式 有 限 公 司 〒550-0004 大阪市西区靉本町1丁目11番7号(信濃橋三井ビル内) 電 話 06 (6448)2120 FAX 06 (6448)2130  ナナ・ファーム須磨</p>



東運サービス株式会社
 三菱フォークリフト
 TCMフォークリフト
 三菱ロジスネクスト株式会社特約店
 三井住友海上火災保険代理店

代表取締役社長 **織田 壽男**

本社 〒650-0041 神戸市中央区新港町10番3号
 電話 078(321)3636 FAX 078(321)0191
<http://www.to-un.co.jp>

AutoTerminal JAPAN SINCE 1997

代表取締役 **藤 恵 まもる**

Autoterminal Japan 株式会社
 〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭1番
 電話078-805-2550 FAX078-805-2750

ONAGA 各種建設機械販売・輸送業
大永商事株式会社

代表取締役 **大永 武志**

〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東4丁目7番
 電話 078(858)0980 / FAX 078(858)0931
 URL <https://www.onagashoji.co.jp>

ポート産業株式会社
 警備業・総合ビルメンテナンス業

株式会社 タカノ
 衛生移動建物

THANKS TO YOU, I AM FEELING NOW!

〒564-0063 吹田市江坂町5丁目6番10号
 電話 06(6369)0111(代)
 FAX 06(6821)0888

株式会社 ディスプレイミワボシ

代表取締役 **池田 良仁**

〒652-0803 神戸市兵庫区大開通3丁目1番21号
 電話 078(576)6666
 FAX 078(579)0006

感動を呼ぶ空間と時間の創造 **ウィンスト** **で検索!**

WINNIST <http://winnist-power.net/>

株式会社 ウィンスト

イベントを中心に、地域、企業、団体の
 コミュニケーション活動をトータルにサポートします。

本社 〒650-0033 神戸市中央区江戸町95番地 井門神戸ビル10階 電話 078(381)6026

ARTY KOBE 株式会社

代表取締役 **多田 眞智子**

〒650-0003 神戸市中央区山本通2丁目9-15
 電話 078(222)1130
 FAX 078(222)1163

株式会社 神警エンタープライズ

代表取締役社長 **向井 一雄**

〒650-0041 神戸市中央区新港町4番5号1階北側
 電話 078(332)3523
 FAX 078(332)3530

ジャパン警備保障 株式会社

代表取締役社長 **長谷川 源幸**

〒650-0031 神戸市中央区東町123番地の1(貿易ビル)
 電話 078(321)0174
 FAX 078(331)6645

神戸市兵庫区水木通5丁目2番2号

有限会社 安藤防災

代表取締役 **安藤 猛**

電話 078(579)3721
 FAX 078(579)3722

神戸ポートタワーホテル・ホテル SUI 神戸三宮 by ABEST

株式会社 アベストコーポレーション

代表取締役 **松山 みさお**

謹んで新春のお慶びを申し上げます

ABEST HOTELS: 神戸ポートタワーホテル・青森・札幌・東京目黒・東京銀座京橋・長野白馬リゾート・白馬八方・白馬龍神・安城・大須観音・奈良・岡山・高知・沖縄・高槻・京都

株式会社 ラスイート

代表取締役社長 **関 寛之**

〒650-0042 神戸市中央区波止場町7-2
 電話 078(371)1111
 FAX 078(371)1110



株式会社 ホテルオークラ神戸

代表取締役社長 **石垣 聡**

〒650-8560 神戸市中央区波止場町2番1号
 電話 078(333)0111
 FAX 078(333)6673

2022年 新春



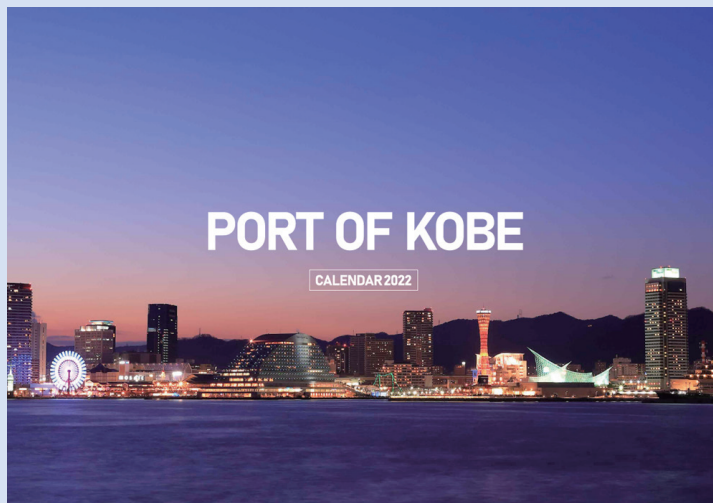
 <p>日本新聞協会会員 日本海事新聞 THE JAPAN MARITIME DAILY</p> <p>関西支局 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-2-10 (本町岡村ビル) 電話 06(6535)8781 FAX 06(6535)8782</p>	<p>山陽電鉄グループの人材派遣会社 株式会社 日本ワークシステム 取締役社長 岩野 誠</p> <p>〒650-0021 神戸市中央区三宮町1丁目5番1号 (銀泉三宮ビル5階) 電話 078(335)5623 FAX 078(393)1887</p>
<p>KISS 神戸国際ステージサービス株式会社</p> <p>代表取締役 遠藤 卓男</p> <p>〒652-0087 神戸市西区見津が丘1丁目16番2号 電話 078(994)1855 FAX 078(994)1856</p>	<p>ジャンボフェリー株式会社</p> <p>代表取締役社長 山神 正義</p> <p>〒650-0041 神戸市中央区新港町3番7号 電話 078(327)3111 FAX 078(391)3020</p>
<p>神戸港関連事業協会</p> <p>会長 西川 幸夫</p> <p>〒657-0854 神戸市灘区摩耶埠頭 (摩耶業務センタービル5階) 電話 078(802)5545 FAX 078(802)5505</p>	<p>株式会社ナガサワ文具センター</p> <p>代表取締役社長 長澤 宗弘</p>  <p>〒650-0033 神戸市中央区江戸町93番 栄光ビル7F TEL:078-321-5600 FAX:078-321-5214 http://www.kobe-nagasawa.co.jp</p>



「2022年神戸港カレンダー」 本誌読者プレゼント!



神戸港の風景が満載の「2022年神戸港カレンダー」を10名様にプレゼント。ご応募は、官製ハガキに、郵便番号・住所・氏名・年令を明記の上、〒650-0042 神戸市中央区波止場町2番2号神戸観光局港湾振興部「港の風」読者プレゼント係までお申込みください。締め切りは、令和4年1月11日(火)必着。当選発表はカレンダーの発送をもってかえさせていただきます。



● お問い合わせ先 ● 神戸観光局 港湾振興部 ☎ (078) 327-8982

